ニッキン
2016年(平成28年)8月5日(金曜日)　(第3種郵便物認可)

企業 財務 IT

スマホを認証ツールへ

ATMやネットバンク 第三者の不正防止

アワードシステム

アワードシステムは、スマートフォンを本人認証ツールに使ったATMやインターネットバンキングの不正防止対策を金融機関に提案していく。既存のパスワード入力に加えて、事前に登録したスマホで1回のみ有効なQRコードを撮影することで、二要素認証の効果を発揮。低コストで第三者による不正を防ぐことができる。

5月に海外の偽造クレジットカードで大規模な不正出金が発生。国内の2015年度の偽造・盗難キャッシュカードによる不正出金被害は法・個人で1318件、6億7200万円(全国銀行協会調べ)など、ネットバンキング不正も含めて〝なりすまし〟防止は金融界の課題だ。

不正防止策として、ATMでは生体認証、ネットバンキングではワンタイムパスワードなどが導入されてきたが、新たな装置や機器の導入はコスト負担が大きい。そこで、同社はスマホを利用した認証サービス「スマートOTQ」を開発した。

利用者は専用アプリをダウンロードして、認証サーバーにスマホを登録。ATMの場合、キャッシュカードの暗証番号を入力して出金操作をした後、画面に表示されるワンタイムQRコードをスマホで撮影。登録されているスマホであることをサーバー側で認証して取引が実行される。

ネットバンキングでは、QRコードの撮影後に振り込み情報を表示して改ざんの有無を確認することも可能。二要素認証だけでなく、トランザクション認証の機能も有する。同社では大手ITベンダーとの連携も視野に入れていく。